

令和3年度 環境活動スタート事業

1 実施校

只見町立朝日小学校（4・5・6学年）＋只見町立明和小学校（5・6学年）

2 実施日

令和3年10月20日（水曜日）

3 内容

「地球温暖化何が起きる？何が出来る？」をテーマに、気象庁 福島地方气象台 調査官の清野博樹氏による講演会を行いました。地球温暖化の基礎知識、地球温暖化に伴う日本・福島県の気候の変化、今私たちが出来ることは何かを分かりやすく説明しました。



4 講演を聞いての感想

海が7わりで、りくが3わりときいて、とてもびっくりしました。福島のさいこう気温が40℃になるのはおどろきました。人間が、温室こう果ガスを車や電車、飛行機で次々に出していると感じたので、とてもおどろきました。

世界の気温が高くなると植物がそだたなくなってしまうと知って、なるべく節電したりゴミを少しでもへらしたりするようがんばりたいです。温室効果ガスをへらすために、エコバックや節電を今日からできるようにがんばりたいです。

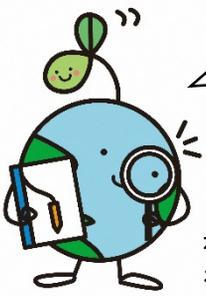
SDGsの意味を聞いて「こんな意味があるんだ」とおどろきました。100年に気温が1度上がっていることを聞いてびっくりしました。ぼくは、おふろの水を1度あげてあつかったのでたいへんだなと思いました。今のたいさくのまま進んだ時はもっとたいさくした時の2倍以上あったのでたいさくしようと思いました。

地球温暖化の話はずっとやってきたけど、たくさん話を聞いて改めて他人事ではないんだということが分かりました。どんな風に地球が温まるのかがくわしく知れたのでよかったです。自分たちでもできることをやっていきたいなと思いました。

地球温暖化によって、平均気温が年々上がり続けたり、北極・南極の氷が溶けてきたりしていると聞いておどろきました。人間はもちろん、動物たちを守る為に自分に出来る改善策をどんどんやっていきたいです。

海や雪、雨や山などの災害や温暖化のえいきょうを知れて良かった。温暖化がいつごろ始まったのか知れて良かった。森林が少なくなっていることを知っておどろいた。自分たちでできる取り組みがたくさんあっておどろいた。様々な地域で温暖化が進んでいることがわかった。

対策をしっかりとし続けた場合と今のまま続けていった場合で、雪の降雪量や海面の上昇などが2倍以上も変わると知っておどろいたので、地球温暖化対策への意識を高めて、節電や節水など簡単な事から続けていきたいと思いました。



福島県の環境保全の
キャラクター「エコたん」

講演を聞いて、自分にもできそうだったこと、やってみようと思ったことは何かな？また、それを実践してみてどう感じたかな？

- ゴミをへらしてガスを出さない
- 節水や節電をする

ゴミをへらすには物を大切にせずすぐ捨てたりしないようにします。家や学校で節水や節電をします。お家の人といっしょにやりたいです。



- 家で温室効果ガスを出さないようにしたい

私の家でもストーブを使いはじめたので、こまめにドアを閉めるようにして、温室効果ガスをなるべくふやさないようにしたいです。家族のみんなにもよびかけるようにします。



- 食品ロス、節水、節電、エコバックを使う

私は、お買い物をする時にエコバックを使ってプラスチックのゴミが減ったんじゃないかと思いました。そして、手を洗う時に水を止めながら洗えたので前よりも水を使わずに手を洗えているなと思いました。



- 節水、節電、ごみ拾い、食品ロスを減らす

食品ロスをへらすために、食べられる分だけお皿によそう。スーパーなどに行く時は、エコバックをもっていく。水を1回1回とめて作業する。使わない電気は消す。



- 節電、節水、プラスチックゴミをださないようにする、エコバックを使う、ゴミをすてない

いい感じだと思います。ほかの学年や家族にも教えたので、ちょっとでもできればいいと思いました。これがルーティーンになってあたりまえにできるようになるまで続けたいと思いました。低学年をほめると、うれしくなって続けたいと思うので、がんばりたいと思いました。

